ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2018 Round.4 SPORTSLAND SUGO

Mistresa RT HARC-PRO.

ST600
#71 Daiki Uehara

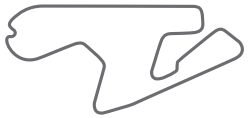
JP250
#71 Kiyoshi Akama

HONDA　HRC　BRIDGESTONE　MUSASHI　Arai HELMET　NGK SPARK PLUGS
elf　TGK　ACTIVE Rev and Ride It !　RK TAKASAGO CHAIN　SUNSTAR　KRS　SIGNET

■Mistresa RT HARC-PRO. Media Infomation

2018 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第 4 戦
SUPERBIKE RACE in SUGO

宮城県・スポーツランド SUGO（1 周 =3.7375km）
観客動員数：6,900 人（2 日間合計）



ST600 クラス
#71　上原 大輝
マシン：Honda CBR600RR　タイヤ：BRIDGESTONE
予選：23 番手（タイム：1 分 34 秒 696）
決勝：16 位

MFJ CUP JP250 国際クラス
#71 赤間 清
マシン：Honda CBR250RR　タイヤ：DUNLOP
予選：21 番手（タイム：1 分 54 秒 763）
決勝：19 位

71 project
Showa Denki Group

昭和電機では全日本ロードレースをより一層盛り上げるべくチームやメーカー、クラスを越えて各クラスのゼッケンナンバーが「71」のライダーとチームを応援する 71 プロジェクトを発足いたしました。

71 プロジェクトでは、応援ツアーの開催や公式プログラムへの広報記載、応援グッズの配布、ピットウォーク時のスタンプラリーなど、様々な企画を計画しております。各クラスで#71 を付けたチーム・ライダーのご声援をよろしくお願いいたします！

http://mistresa-71.com

JSB1000
Team KAGAYAMA
#71 加賀山 就臣 選手

J-GP2
TONE RT SYNCEDGE4413
#71 三原 壮紫 選手

J-GP3
Team P.MU 7C MIKUNI
#71 小室 旭 選手

ST600
Mistresa RT HARC-PRO.
#71 上原 大輝 選手

JP250
Mistresa RT HARC-PRO.
#71 赤間 清 選手

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2018 Round.4 SPORTSLAND SUGO

ST600 #71 Daiki Uehara　　JP250 #71 Kiyoshi Akama

Mistrésa RT HARC-PRO.

コンディションに翻弄されながらもポイントを獲得

シリーズ 4 戦目を宮城県・スポーツランド SUGO で迎えた全日本ロードレース選手権。ここ数年は、雨に祟られていた SUGO ラウンドだったが、事前の週間天気予報では、雨マークはなかった。それがレースウイークに入る前日の木曜日には、雨予報とガラリと変わってしまう。

全日本ロードレース選手権は、第 2 戦、第 3 戦と 4 輪のスーパーフォーミュラとの 2&4 レースで、JSB1000 クラスのみの開催となっていたため、Mistresa RT HARC-PRO. から ST600 クラスにエントリーする上原大輝にとっては、開幕戦以来、約 2 カ月振りのレース。2 週間前に行われた事前テストでは、転倒もあり、ST600 ルーキーにとって悩めるSUGO ラウンドになっていた。

レースウイーク初日となった金曜日は、半日は持つかと思われたが、J-GP2 クラスの 1 本目の走行から雨が降ってきてしまい ST600 クラスは、2 本ともウエットコンディションで行われた。MFJ CUP JP250 クラスは、この日、最初の走行だったため、1 本目はドライで走ることができたが、2 本目はウエットとなっていた。

土曜日は、朝から雨は止んでいたが、路面はウエット。最初の走行となる JP250 クラスの公式予選は、路面が乾いて

行く方向のため、セッション終盤でのタイム出し勝負となる。赤間は、徐々にタイムを詰めていき、計測最終周にベストタイムをマークするが、思うようなタイムを出せず 21 番手に沈んでしまう。

決勝では、序盤こそ他のライダーとバトルをしていたが、ペースをつかむと周回毎にタイムアップして行き単独走行となる。12 周のレースの 11 周目にベストタイムをマークし、総合 19 位、国際クラス 12 位でゴールした。

JP250 #71 Kiyoshi Akama

一方、上原は、難しい路面コンディションもさることながら、ST600 のマシンを乗りこなすことに悩んでいた。それでも公式予選では、計測最終周にベストタイムを出し、23 番手グリッドを獲得。

ST600 #71 Daiki Uehara

決勝が行われた日曜日も肌寒い 1 日となった。20 周で争われた ST600 クラスの決勝。上原は、オープニングラップでポジションを上げると、前を走るライダーの転倒もあり、13 周目には、15 番手に浮上。レース終盤には、3 台でのバトルとなり、3 コーナーで抜かれても、すかさず 4 コーナーで抜き返す接戦を展開。最終ラップのシケイン勝負となり、ここで失速してしまった上原は、1 台にかわされ 16 位でゴール。悔しい展開となったが、この経験を次戦に生かすことを誓っていた。

■上原大輝コメント

「事前テストで転倒があり、600cc のマシンをどう操ればいいか悩みました。チームを始め、多くの方がアドバイスをくださり、レースウイークでやろうと思っていたことが、全くできず本当に悔しく応援していただいている皆さんに申し訳ないレースをしてしまいました。根本的な部分から見直していかないと先はないと思っています。次戦筑波まで時間はあまりないですが、チャレンジして行きます」

■赤間 清コメント

「前戦のオートポリスラウンドは、走る度に調子を上げて行けて、決勝でも追い上げて行くことができていました。今回の SUGO も、同じような流れを作りたかったのですが、初日に雨が降ってしまいペースを上げて行くことができなかったのが敗因です。次戦の筑波は、2 レースあるので、しっかり組み立てて両レースでいい結果を出したいと思っています」

このリリースのお問い合わせは
昭和電機株式会社 営業推進部 sales@showadenki.co.jp